

この1ヶ月は冬学期の授業の最後を受けていました。今学期は私が受講していた3つの授業全てで授業内のテストやプロジェクトがFinal examの代わりになり、Final examはありませんでした。

授業を振り返ってみると、Classは学生数が多くても30人とKITよりも少人数で構成されていて、教師一人に対する学生数がKITよりも少ないために比較的きめの細かい対応が期待できます。Rose-Hulmanでは教師は3年ごとに審査され、生徒や教師間での評判が悪い教師はすぐに職を失うそうです。そのせいか、私の受講したClassの先生は良い方ばかりでした。授業の難易度については、私が受講したClassについてはKITとそれほど変わらず、同じか少しKITよりも難しい程度だと感じました。授業の進度についてもそれほど差は感じませんでした。Rose-Hulmanに行く前には非常にHome Workが多い大学だと聞いていましたが、実際に行ってClassを受講した結果、Home Workの量はKITとあまり変わらず、KITよりも少し少ない程度だと感じました。

生活環境については、大学の施設内のDormに住んでいたため、Dormにいる時間が一番多くなりました。私が住んでいたDormは比較的古い建物で、4階建てで60人近い住人に対してKitchenが1階の1箇所しかなく、ほとんどの食事はCafeteriaなどでとることになりました。Cafeteriaは食事内容が好みに選べるシステムでしたが、あまり健康的な物は置いてありませんでした。食事内容はサラダ以外には肉やチーズや塩が主な物で、Rose-Hulmanにいた間に少しだけ体重が増加しました。

Rose-Hulmanの学費はKITの約2倍で、アメリカの学生にとっても安い授業料ではありません。そのせいか、Rose-Hulmanの学生は比較的まじめな学生が多いと感じました。授業の内容はKITとそれほど変わらないにも関わらず大学の評価が非常に高いのは、まじめな学生が多く在籍しているのが原因ではないかと思いました。

終わってみればあっという間の半年でした。この半年間で私の英語能力は専門科目の授業を受講できる程度には上達しましたが、まだ自分の考えを十分に英語で表現できるほどにはなっておらず、まだ派遣留学に行く前の自分の目標には到達していません。

今回の派遣留学では大変貴重な経験をさせて頂きました。この機会をKIT、Rose-Hulmanの両大学に与えて頂いた事、またRose-Hulmanの先生や学生のみなさん、KIT国際交流室の方々には大変感謝しています。今後はKITの大学院に進学しますが、引き続き英語の勉強も続けていくつもりです。